

単 元 名	ドッジボール	配当時間	8時間
単元の目標	(1) ルールを守り，互いに仲よくゲームを行い，勝敗を素直に認めようとする。 (2) ゲームを楽しむための簡単なルールを工夫することができる。 (3) ボールを投げたり，捕ったりして楽しく対面ドッジボールをすることができる。		
単元を構想する上での留意点	2年生のドッジボールでは，1年生の転がしドッジボール・中当てドッジボールを発展させて，対面ドッジボールを行う。対面ドッジボールは，素早い攻守の切り替えやパス回しが大切なので，それらを意識した遊びを取り入れる。また，内野と外野の協力が必要になってくるので，話し合いを十分にさせる。		
単元展開例			
準 備	ドッジボール，対戦表 など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 ドッジボールのねらいと内容を理解し，学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 ルールを工夫してドッジボールを楽しもう ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○チームをつくる。 ○ボールを使って遊ぶ。 ・円になってパス ・円の中に逃げたり，捕ったりする人をいれてパス など ○試しのゲームをする。		・対面ドッジボールを行うことを知らせる。 ・男女混合6～8人で編成する。 ・チームごとに行わせる。 ・ボールを投げるときは，投げる手と反対の足を踏み出すことを意識させる。 ・ルールの例 外野2人，内野4～6人に分かれる 1ゲーム5～6分 内野が当てられたらアウトになり，味方の外野に出る 外野が相手の内野に当てたら，味方の内野に入る 終わりの合図で，内野の多いほうを勝ちとする など	
2～4 簡単なルールで，ドッジボールを楽しむ。 			

・めあて ・作戦 ・ルール ・マナー など 5～7 ルールを工夫して、ドッジボールを楽しむ。 (ねらい2) ○ボールを使って遊ぶ。 ○ルールについて話し合う。 ○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○チームのめあてや作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 ・めあて ・作戦 ・ルール ・マナー など 8 ドッジボール大会をする。 ○リーグ戦やトーナメント戦でドッジボール大会をする。 ○単元のまとめをする。	・工夫したルールの例 1ゲーム10分 外野はどこから投げても良い 味方同士でパスをしても良い ボールを2つ使用する など ・同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。 ・めあてを立てられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームのめあてにそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームと同じチームと対戦する。 評 工夫したルールでゲームをする活動を通して、「思考・判断」を評価する。 ・試合方法は、学級の実態に応じて決める。 評 ドッジボール大会を通して、「技能」を評価する。 ・チームでの話し合いや自己評価などをさせる。
--	---